

自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp>



10

衆議院議員
下村博文さん特集号

(昭和30年6月15日第三種郵便物認可) 号外

発行所
自由民主党
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
振替口座 東京00180-1-19518
定価 1部 105円(税込み)
〈毎週火曜日発行〉

衆議院議員

下村博文さん



日本を教育文化立国にし、世界へ魅力ある人材と文化の発信を!!

私は「教育を国家戦略として考え、一人ひとりの可能性を伸ばすのは教育であり、それを国が一生涯に渡ってバックアップ



社会の中で弱い立場にこそ光があたる政治を!!

交通遺児一期生として、高校・大学と奨学金を借りて進学した経緯から、現在あしなが育英会副会長。

あしなが育英会の調査によれば、さらに格差社会は深刻になり、遺児母子家庭の平均年収は137万円。子供を高校に進学させることも難しくなっている。貧困が貧困を再生産する社会をなんとかしても無くしたい。

策言提

いつも国民と同じ目線に立つことで国民が心から求める政策を推進します。



地球環境対策は日本の世界への貢献

産業革命がイギリスを発祥の地としたように、日本が「環境革命の発祥の地」となる。そう



するための体制をつくること、豊かな国を創ることになる。つまり豊かな人間を創ることが豊かな国の発展となる」と考え、内閣官房副長官の時は、『教育再生会議』の発足を提案した。この時に、教育基本法を改正、さらに関係教育三法案も成立させ、教育の歴史的第一歩を成し遂げた。さらにこれからの勝負。

まず政治家と公務員が「痛み」を負ったうえで、国民に「負担の分担」をお願いするのが正道。

国会議員は現在の722名から500名に。衆議院と参議院を合併し、一院制にする。

公務員の天下りの根絶。各省縦割りの打破をし、官僚主導から政治主導へと切り変える。そのために、100人規模の「国家戦略スタッフ」(政治任用)を官邸に登用し、政治主導の戦略立案を実現する。



国会議員の定数削減と公務員制度改革を實行

した「国家としての意志」が新しい文明の創造には必要だ。日本の高度な環境技術と新・省エネルギーの開発、そして日本独特の自然との共生思想がこれからの地球に求められている。

有限会社 藤栄



〒175-0091
東京都板橋区三園1-51-15
TEL (03) 5383-3061
FAX (03) 5383-3084
URL <http://www.touei-c.jp/>

フジTV本社事業所
〒137-8088
東京都港区台場2-4-8 MTB B1F
TEL (03) 5531-8711
FAX (03) 5531-8716

営業案内
●一般廃棄物収集運搬処理 ●産業廃棄物収集運搬処理 ●機密文書処理
●プラスチック再生 ●古物売買業務 ●各種リサイクル業務 ●ビル管理業務

遺児母子家庭や貧困家庭の救済



自身も交通遺児であり、あしなが育英会副会長として、遺児母子家庭を含む貧困世帯の子供の教育や母親の就労支援、また奨学金制度や公的資金の充実などについての精力的な活動を行っています。

公団居住者を守る



自民党東京23区公団住宅居住者を守る国会議員の会の代表世話人として、国土交通省とUR都市機構に対して、近傍家賃の問題や年金生活者の家賃、空き部屋の問題などについて提言を行いました。

大和町交差点公害対策

平成11年度の調査で二酸化窒素と浮遊粒子状物質濃度がそれぞれ全国ワースト1位、2位であった大和町交差点の大気汚染の問題に国交省、東京都に働きかけ、平成17年には浮遊粒子状物質濃度でワースト79位に改善しました。



「下村博文の『教育改革』の実績」

教育基本法の改正

内閣官房副長官として、戦後レジームからの脱却のひとつとして、約60年ぶりに教育基本法を改正し、新たに公德心や家庭教育、幼児教育、私立学校等を明記しました。

教育再生会議

下村代議士の「総理官邸直轄の下に教育改革を断行すべし」との意見を安倍総理が受け、教育再生会議がスタートしました。公教育再生への第一歩として、ゆとり教育の見直しをし学力を向上させる、高い規範意識を子ども達に身につけさせる等の提言を行いました。



教育基本法の改正3法案

官房副長官時に内閣として教育基本法3法案を国会に提出しました。①学校教育法の一部を改正する法律案で副校長等新しい職を作り、より学校を組織化しました②地方教育行政の法律案で、教育委員会の責任体制の明確化をしました③教育職員免許法の改正で、免許更新制の導入を成立させました。

環境学習「緑のカーテン」の全国展開を推奨

ツル性植物を校舎の壁一面に栽培することで、太陽熱を遮断して室温を下げる「緑のカーテン」。この画期的な環境学習を実施する板橋区立第7小学校を視察し、国としての助成を決めると共に、温暖化対策として全国推奨をしています。



地元商店街の振興



昨年まで官房副長官として「立ち上がる農山漁村プロジェクト」の副大臣会議をとりまとめていましたが、その試みに最初に手を挙げたのが大山ハッピーロード商店街の「とれたて村」で、農山漁村だけでなく、商店街の活性化にも成功した事例として、国土交通大臣賞、経済産業大臣賞など多数の賞を受賞し、全国からモデルケースとして注目を集めました。

下村博文プロフィール

昭和29年5月23日生まれ(54歳)
早稲田大学卒業
東京都議会議員2期
衆議院議員4期・現職
趣味: 読書・ウォーキング
特技: マラソン
(東京荒川市民マラソン3回完走)



略歴

自由民主党青年局長
法務大臣政務官
自由民主党副幹事長
文部科学大臣政務官
自由民主党国会対策副委員長
内閣官房副長官
衆議院法務常任委員長



www.hakubun.jp



私たちの結論。

ビジネスは
ホームページで
変えられる!

Q. ホームページってどうやって作ればいい?

ギアクリエイトのこたえ

私たちは最初に『つくる必要性』と『得られる効果』を分析してご案内します。
『これからホームページを作りたい』企業様、『今のホームページの効果に疑問がある』企業様、まずはご相談下さい。



株式会社ギアクリエイト 〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-9-8 H2ビル2F
☎ 03-5953-5641 ✉ info@gearcreate.jp

弊社は1999年の会社設立以来、100社以上の企業様の会社案内やホームページ、各種営業ツールといった制作物のお手伝いをして参りました。その経験で培われたノウハウが、クライアント企業様の「強み」と「弱み」を素早く見抜き、「強み」を活かした制作物と「弱み」を補うプロモーションのご提案を実現します。

※近3年間のホームページ制作実績 株式会社 20社以上 / 中小企業 10社以上 / 官公庁及び学術機関 3社 / 個人事業主 10社以上